

2021 年度 個人研究実績・成果報告書

2022 年 4 月 18 日

所属	国際教養学部	職名	准教授	氏名	藤田 輔
研究課題	世界経済における貿易・投資・開発援助の動向及び国際機関のガバナンス機能に対する多角的考察				
研究キーワード	貿易, 投資, 開発援助, 国際機関	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	1. 貧困をなくそう	8. 働きがいも経済成長も	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	16. 平和と公正をすべての人に	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>本年度は、外国直接投資（FDI）の多国間枠組みの構築に向けた国際機関の役割に特に注目して、研究を逐次勧めた。その上で、FDIの実施時の実用的・技術的な手続きとして、投資受入国で企業が直面しうる障壁の削減や除去を行う投資円滑化（investment facilitation）に焦点を当てて、主要な先行研究から、その定義付けや構成要素を明確にすると同時に、途上国でも先進国でも、投資円滑化の余地が相応に存在するという状況を各種統計で確認した上で、そのルール化に向けて、2000年代に投資の多国間枠組みの形成の議論が頓挫した経験のある世界貿易機関（WTO）がいかに貢献するべきかを模索した。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】</p> <p>なし</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <p>・「投資円滑化に対する国際機関の貢献の展望：WTOでのルール化に関する諸考察」千葉商科大学〔編〕『千葉商大紀要・第59巻第2号』, pp.113-136, 2021年11月</p> <p>【学会発表等】</p> <p>なし</p> <p>3. 主な経費</p> <p>研究活動に用いるためのノートPCを購入。その他、これらに付随する消耗品費（書籍、ソフトウェア、プリンターインク、文房具）や学会年会費も相応に発生。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>特になし。</p>					